

# 愚問ですが

# 低空飛行状態の民主党政権

# 特集ワイド

「歴史的」な政権交代から半年余。鳩山由紀夫首相の内閣は新年度予算を成立させ、7月には参院選に突入する。だが、民主党への国民の失望感はじわりと広がり、支持率は低空飛行状態だ。党副幹事長の細野豪志衆院議員に自己分析を求めた。

【根本太一】



## 細野豪志副幹事長に聞く

——何が原因の支持率低下なのでしょう。

細野さん 去年までは政権交代に対する反応が圧倒的に多かった。今年に入ってその果実みたいなものを求められる中で、予測はしていたが、現実として本当に厳しい状況です。ただ地方を歩くと、交付税が増えたとか、地域医療で困っていた自治体が「ひと息つける」とか、前向きな評価もいただいています。

——政権が誕生して以降、鳩山首相や小沢一郎幹事長の秘書逮捕・起訴などマイナスな出来事が続いています。

細野さん 政治とカネの間

題でこれだけお騒がせして、申し訳ないと思います。企業・団体献金に頼らず政治活動を続けてきた私としては残念。個別に問題を解決するのは本人にやってもらわなければ、しかし党としては、企業・団体献金をすべて廃止することで国民の皆様に応えていきたいと思っています。

——本人が解決するとは、どういう意味でしょうか。

細野さん 秘書の裁判の場を通して解決していただくということですね。会見などを通じて説明する努力は必要ですが。

——世論調査では、多くの人が小沢さんの幹事長辞任を求めています。

細野さん うーん。何て言うか、答えになっていないと思われながらも、政治がすべて人を代えれば、政治がすべて変わるとは私は思っていないんです。一瞬は目先が変わって支持率が上がるかもしれませんが、同じテツは自民党も踏んできましたよ。人事が局面の打開になるかというところかなあ。

——細野さんの地元の静岡県連は、次期参院選で2人区なのに候補者を1人しか擁立しないと。現状で、2人では共倒れの可能性もあるからなんですか。

細野さん まあ、それは、私に聞かれても……。私は県連の執行部ではないし、小沢さんは2人目の候補者も決めました。

細野さん 2人を立てるといのは党の大方針。守りの選挙はできません。攻めしか我々には手がないんです。

——小沢さんと地元との板挟みになっていませんか。

細野さん ……政治って、

## 政治とカネ 本人が解決を

他の問題でもそうですけど、時々状況の中で思ったことを何でも吐露すればいいとは思いません。我慢する時には我慢して、それが役割を果たさない前に進まない。副幹事長が今の私の立場ですから、2人擁立で理解をしてくれよう働きかけている最中です。

——景気も雇用情勢も厳しい中で、衆参の「ねじれ」を懸念しています。

細野さん ねじれはまずいんです。まずいんです。トータルに見て、07年の前回参院選でねじれて以降、自民党政権の政治は停滞してしまっています。でも我々は政権交代という大義のため、停滞を乗り越えて

ほその・こうし 1971年生まれ。京都法律三和総研(現三菱UFJリサーチ&コンサルティング)研究員を経て00年の総選挙で初当選。連続4期。党組織委員長兼企業団体対策委員長も務める。

——参院選まで3カ月余りしかありません。

細野さん はい。ただ地方を歩いて感じるのは、国民の支持が自民党に戻っていないということですね。期待した成果がなかなか出てこない中、むしろ民主党どうしたって、叱咤激励の声だと受け止めています。与党の場合いきなり大本塁打は打てませんから、一つ一つ安打を積み上げながら、しっかりとやっている姿を見せられれば、楽観してはい

ませんが、悲観することもないと思います。

——政治とカネの逆風下で予算は戦後5番目の早さで成立しました。自民党の追及は厳しくなかったですか。

細野さん 野党が長かったので、私は時々以前の感覚で見てしまっていますが、その点で言うなら、自民党の追及は甘かったですね。

——どの辺ですか。

細野さん 典型的なのは、質問する議員が長々と自説を述べて「どうですか?」と。あれは楽でした。我々の場合ポンと投げ、返ってきたのをカッンと打つ。自民党には助けられた部分もありました。しかし、政治全体から言うと決断が早いことではなかったですね。政治とカネの問題の議論もいいんですが、例えば財政をどうするか本格的な論争があった方が、国民にはプラスだったと思います。

——自民党では大島理森幹



いずれも梅村直承撮影

——いずれも梅村直承撮影

——参院選まで3カ月余りしかありません。

細野さん はい。ただ地方を歩いて感じるのは、国民の支持が自民党に戻っていないということですね。期待した成果がなかなか出てこない中、むしろ民主党どうしたって、叱咤激励の声だと受け止めています。与党の場合いきなり大本塁打は打てませんから、一つ一つ安打を積み上げながら、しっかりとやっている姿を見せられれば、楽観してはい

え、できる限り広く深く支持をいただきたいなと思えます。参院選のマニフェスト(政権公約)づくりでは近々タウンミーティングを開いている方々も参加してもらおうと思っています。たくさんの方に共に政策づくりに関わっていただく。その中で民主党はトップダウンで物事を決めていくという悪いイメージも払しょくしたいですね。

——小沢さんのトップダウンじゃないんですか。

細野さん 政策づくりなんかそうとう自由ですよ。以前は政府と党の一元化で、かなり統制をきかしてやってきました。今は、政務三役との政策会議も「ガス抜き」の場ではなく、党内にも議員政策研究会を設けて、1期生(新人)議員も国民のためにどんな提案できる形を整えています。

# 謙虚にやらないう

越えても日本を変えるべきだと頑張ってきたわけですが、次の選挙で仮にもねじれたら3年も停滞する可能性がある



ませんが、悲観することもないと思います。

——政治とカネの逆風下で予算は戦後5番目の早さで成立しました。自民党の追及は厳しくなかったですか。

細野さん 野党が長かったので、私は時々以前の感覚で見てしまっていますが、その点で言うなら、自民党の追及は甘かったですね。

——どの辺ですか。

細野さん 典型的なのは、質問する議員が長々と自説を述べて「どうですか?」と。あれは楽でした。我々の場合ポンと投げ、返ってきたのをカッンと打つ。自民党には助けられた部分もありました。しかし、政治全体から言うと決断が早いことではなかったですね。政治とカネの問題の議論もいいんですが、例えば財政をどうするか本格的な論争があった方が、国民にはプラスだったと思います。

——自民党では大島理森幹

る人が必要なんです。一方で、個別の政策論とは別にトータルなイメージで、民主党は政権を取ってごりがあるんじゃないか、そんな目で見られている部分もあるかもしれない。我々は逆に謙虚にやらなきゃいけないと思います。

——謙虚とは。

細野さん そこが民主党の課題なのかもしれませんね。陳情や要望の受け方などでも批判をいただきましたし、政策でも成果の出ない問題がある。我々は政権にたどり着いたんだけど、まさに発展途上であって、足りないところを国民の皆さんに率直におわびしなければならぬと思います。そして、こういうことで日本を変えたいんだと地道に訴えていかないと。

——具体的には。

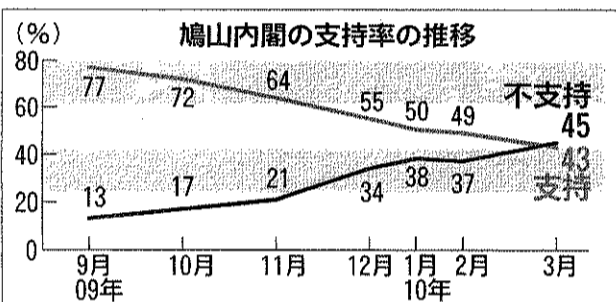
細野さん 団体ばかりに目がいき、一般の国民に対する視点を失ってはまずいです。若い人も含めて皆さんに訴

え、できる限り広く深く支持をいただきたいなと思えます。参院選のマニフェスト(政権公約)づくりでは近々タウンミーティングを開いている方々も参加してもらおうと思っています。たくさんの方に共に政策づくりに関わっていただく。その中で民主党はトップダウンで物事を決めていくという悪いイメージも払しょくしたいですね。

——小沢さんのトップダウンじゃないんですか。

細野さん 政策づくりなんかそうとう自由ですよ。以前は政府と党の一元化で、かなり統制をきかしてやってきました。今は、政務三役との政策会議も「ガス抜き」の場ではなく、党内にも議員政策研究会を設けて、1期生(新人)議員も国民のためにどんな提案できる形を整えています。

## トップダウン イメージ変えたい



る人が必要なんです。一方で、個別の政策論とは別にトータルなイメージで、民主党は政権を取ってごりがあるんじゃないか、そんな目で見られている部分もあるかもしれない。我々は逆に謙虚にやらなきゃいけないと思います。

——謙虚とは。

細野さん そこが民主党の課題なのかもしれませんね。陳情や要望の受け方などでも批判をいただきましたし、政策でも成果の出ない問題がある。我々は政権にたどり着いたんだけど、まさに発展途上であって、足りないところを国民の皆さんに率直におわびしなければならぬと思います。そして、こういうことで日本を変えたいんだと地道に訴えていかないと。

——具体的には。

細野さん 団体ばかりに目がいき、一般の国民に対する視点を失ってはまずいです。若い人も含めて皆さんに訴

る人が必要なんです。一方で、個別の政策論とは別にトータルなイメージで、民主党は政権を取ってごりがあるんじゃないか、そんな目で見られている部分もあるかもしれない。我々は逆に謙虚にやらなきゃいけないと思います。

——謙虚とは。

細野さん そこが民主党の課題なのかもしれませんね。陳情や要望の受け方などでも批判をいただきましたし、政策でも成果の出ない問題がある。我々は政権にたどり着いたんだけど、まさに発展途上であって、足りないところを国民の皆さんに率直におわびしなければならぬと思います。そして、こういうことで日本を変えたいんだと地道に訴えていかないと。

——具体的には。

細野さん 団体ばかりに目がいき、一般の国民に対する視点を失ってはまずいです。若い人も含めて皆さんに訴

る人が必要なんです。一方で、個別の政策論とは別にトータルなイメージで、民主党は政権を取ってごりがあるんじゃないか、そんな目で見られている部分もあるかもしれない。我々は逆に謙虚にやらなきゃいけないと思います。

——謙虚とは。

細野さん そこが民主党の課題なのかもしれませんね。陳情や要望の受け方などでも批判をいただきましたし、政策でも成果の出ない問題がある。我々は政権にたどり着いたんだけど、まさに発展途上であって、足りないところを国民の皆さんに率直におわびしなければならぬと思います。そして、こういうことで日本を変えたいんだと地道に訴えていかないと。

——具体的には。

細野さん 団体ばかりに目がいき、一般の国民に対する視点を失ってはまずいです。若い人も含めて皆さんに訴